

二  
覺

當院儀孝治法印元祿四年五月淺草興山寺  
上リ屋鋪拜領初而石清水八幡勸請被仰  
付八幡社并本地堂護摩堂御建立被成下同  
七年七月社領百石御寄附爾來每日於神前  
御本地供護摩供等之御祈禱相勤同七月十  
六日ヨリ毎月十六日御札献上仕來候依之  
仁和寺直院家被仰付五節句并例月朔日  
十五日廿八日御禮相勤且又去年三月御加

增百石拜領權僧正被仰付長日之御祈禱  
無懈怠修行仕候開山孝治以來尊祐隆慶拙  
僧迄四代任職相勤候以上

丑四月

大護院印

寺社御奉行所

按スルニ憲廟實錄元祿七年七月十日都下大  
護院ニ新ニ八幡宮ヲ建立シ社領百石ヲ附テ  
卜記シ御加増權僧正ノ事ナク且甘露最元祿七  
年七月廿六日大護院弟子信慶儀豐藏坊卜改メ  
城州八幡大護院後住ニ仰付テ卜記セシニ實

録コレヲ収載セヌ闕文トイフヘシ書出ニ此地  
ヲ指テ浅草具山寺上リ屋鋪トイフ事ハ白石ノ  
高野事略ニ具山第三世應昌ハ勢譽附法ノ弟子  
トシテ其師ノ讓ヲ得テ具山寺ノ住持職ト十廿  
ル常ニ駿府ニ伺候シ五年毎ニ登山シテ山ノ事  
ヲ沙汰ス慶長十九年ノ冬大坂ノ御陣ニ供奉ス  
十二月五日應昌ヲ召シテ南都内山吉野大峰熊  
野北山等ノ山卧土民等大坂ニ與セシ者共退治  
スヘキ由ノ仰ヲ蒙リコ、カシコニ馳向テ一揆  
ヲ降伏シ明年四月御暇ヲ賜テ登山シ山ノ僧徒

ニ物具廿セ大坂ノ御陣ニ馳參ル 東照宮カク  
レ廿セ玉ヒシ後江戸浅草ニシテ寺地ヲ賜リ駿  
府ニ在シ文珠院ノ坊舎ヲ引移シ常ニ御前ニ伺  
シ五年ニ一度登山シ山ノ事ヲ沙汰スル元ノ  
如シトイフ是ナリ又同書ニ行人ノ僧徒愁訴五  
度ニ及ヒ元禄五年七月終ニ來迎院ヲ始トシテ  
行人ノ僧六百八十人餘遠流ニ處セラレ具山寺  
ノ事在山行人ノ上首等輪番交替シテ執務スト  
イヒ實録同年七月朔日寺社奉行本多紀伊守正  
永大目付高木伊勢守守養目付柴田七左衛門使

ヲ奉テ高野山ニ赴ク六日高野山ノ行人方ノ僧  
上裁ヲ背ク者悉山中ヲ追放シ紀州ニ安置スヘ  
シト云事ヲ余ス廿五日高野山行人方ノ僧四百  
八十八人ヲ残シ上裁ヲ背ク者六百二十七人ヲ  
紀州橋本ニ幽ス八月十一日高野山行人方ノ僧  
上裁ヲ背ク者六百二十七人ヲ多テ大隅薩摩壹  
岐肥後天草肥前五嶋隱岐ノ諸島ニ渡ス廿一日  
高野山行人ノ組頭丹山寺ヲ板倉百助ニ預ラル  
トイフ此時此屋鋪モ名上ラレタルト知ヘシ  
洪鐘ニ幕府ノ御法号以下ヲ具録セシハ下谷源

空寺ナルヘシ梵音悟深遠微妙間十方等ノ語ノ  
次ニ寛永十三丙子年九月二十九日鑄物師椎名  
カ姓名ヲ記シ大日本國武州豐嶋郡江戸湯嶋五  
臺山源空寺願主當山開山覺蓮社圓譽雲門比丘  
大相國一品德蓮社宗譽道和大居士 台徳院殿  
一品大相國公ト刻メリ書法拙陋甚シ此寺ハ法  
然上人靈迹作州誕生寺ヲ摸倣セル十リ上人ハ  
美作久米南條稻岡ノ人浄土宗ノ開祖夕リ詳ニ  
勅修傳記ニ見エレハ縹説ニ及ハス



奉天高麗山... 及... 中書省... 內閣... 禮部... 兵部... 刑部... 工部... 戶部... 吏部... 翰林院... 太僕寺... 大理寺... 御史台... 通政司... 國子監... 太常寺... 光祿寺... 鴻臚寺... 太僕寺... 大理寺... 御史台... 通政司... 國子監... 太常寺... 光祿寺... 鴻臚寺...

詞曹雜識卷廿四

